



テクトロニクス®のV-by-One® HSソリューション

V-by-One® HS

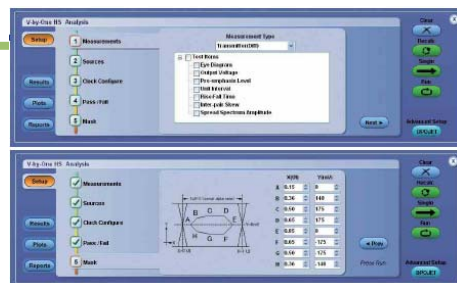
従来、液晶ディスプレイの画像入力信号の内部インタフェースとしてはLVDSが標準的に使用されてきました。3D、あるいは4K2Kへの対応など、高解像度化、色深度拡張の要求が増加していますが、これにともない、ケーブル間のスキューが大きな課題になってきました。V-by-One® HS はこうした新しい時代の要求に応えるインタフェースとしてザインエレクトロニクス社によって開発された新しいインタフェースです。イコライザ機能により、従来のLVDSに比べて大幅に伝送品質を向上しています。また、クロック・データ・リカバリの採用で、従来のLVDSで問題になっていたケーブルスキューについても解決し、EMIの低減を実現しています。さらに伝送ペア数の削減でケーブル・コネクタなどのトータルコスト低減が可能になります。

・ V-by-One® はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です

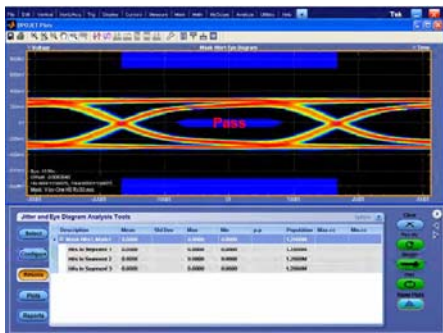
テクトロニクス®のV-by-One® HSソリューション

テクトロニクスはザインエレクトロニクス社と共同で、V-by-One® HSの測定手法、テスト・ツールを開発してきました。

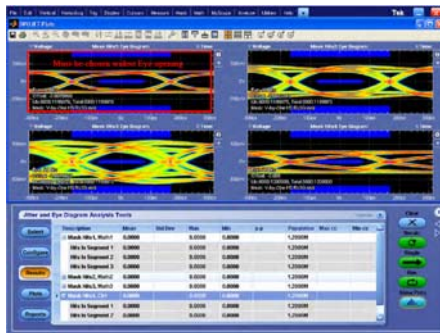
テクトロニクスの計測/テスト・ソリューションにより、ザインエレクトロニクス社で供給されている標準テスト手法を自動テストすることが可能です。アイダイアグラムの設定、テストも簡単に実施することができ、PLLの設定も容易です。また、イコライザの定数を変えて4つまでのイコライズ波形の同時表示が可能のため、イコライザの評価、解析に威力を発揮します。その他、容易なレポート作成、差動とシングルエンドの両測定が一本で実現可能なトライモード・プローブなど、V-by-One® HSの標準測定、テスト、設計、デバッグまでトータルにサポートします。



V-by-One® HS 自動測定/解析ソフトウェア



マスク・テストの例



4波形同時表示のイコライズ
ング・アイダイアグラム



P7500シリーズ
TriMode差動プローブ

5つのメリット

- Tx/Rxの自動測定(アイパターン測定、立上り/立下り時間、スキュー...)
- 柔軟性が高いクロックリカバリ機能により、乗数の異なるPLLに対応
- 変数の異なる4つまでのイコライズ波形を同時に解析可能(ArbFilter)
- TriModeプローブにより、プローブの接続ポイントをつなぎかえることなく差動測定、シングル・エンド測定が可能
- 世界最高クラスの性能と機能によりデバッグ時間を大幅に短縮
 - MHT レポートを自動作成可能
 - 設定したリミット値を超えると自動的に測定を終了し、異常状態を容易に検出
 - 測定結果と実波形がダイレクトにリンクしているため、波形の目視確認が可能

www.tektronix.com/ja

お問い合わせ オシロ
テクトロニクス お客様コールセンター TEL: 0120-441-046 電話受付時間/ 9:00~12:00・13:00~19:00(土・日・祝・弊社休業日を除く)
〒108-6106 東京都港区港南2-15-2 品川インターシティ B棟6階
記載内容は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。記載価格は2011年11月現在(税抜)。
© Tektronix 2011年11月 00Z-00000-0
*TEKTRONIXおよびTEKはTektronix, Inc.の登録商標です。記載された商品名はすべて各社の商標あるいは登録商標です。

Tektronix[®]